ECASH BUSINESS DESIGN

2008年3月期第３四半期決算及び通期業績予想修正　説明資料

＜目次＞

1. ３Q連結業績 、総括　P.3～
2. 通期業績予想の修正について　P.6～
3. その他の進捗状況　P.12～
4. 付属資料　P.17～

2008年2月7日

イー･キャッシュ株式会社

（証券コード：3840）

©1990-2008 ecash corporation.

本資料の取扱いについて

- 本書には、当社及び当社の子会社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。なお、特別な注記がない場合は財務データは連結ベースで表示しております。当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

©1990-2008 ecash corporation.

3Q連結業績

（単位：百万円）

	2008年3月期 3Q	2007年3月期 3Q	前年同期比	
			金額	増減率
売上高	423	366	57	15.6%
売上原価	283	170		
売上総利益	139	195	△ 56	-28.7%
（利益率）	32.9%	53.4%		
販管費	308	152		
営業利益	△ 169	42	△ 211	-
（利益率）	-	11.7%		
経常利益	△ 168	38	△ 206	-
（利益率）	-	10.4%		
当期純利益	△ 215	19	△ 234	-
（利益率）	-	5.4%		

3Q決算の総括

（前年同期比較）

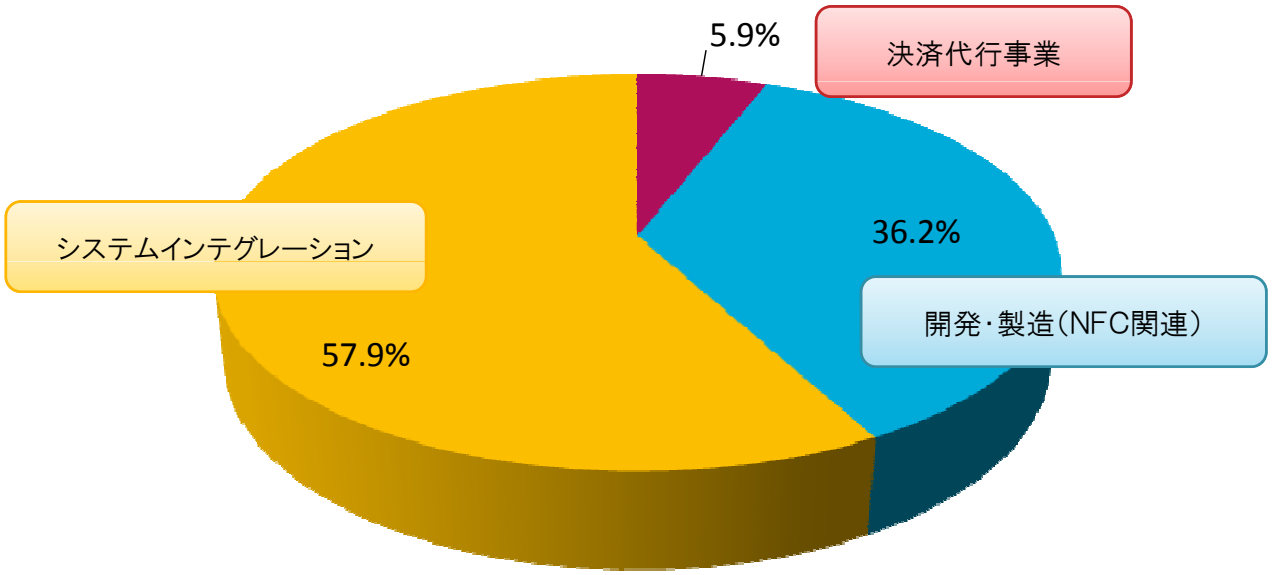
1. 外注比率の高いシステムインテグレーションの売上高が約6割を占めるため売上総利益率が低下。

2. 下記要因による販管費の増加

・株式上場に関する管理費（証券代行手数料等）
・人件費及び人材募集費用
・オフィス拡張に関する費用

©1990-2008 ecash corporation.

サービス別売上高構成



事業の種類		売上高（百万円）	売上高構成比	
決済代行事業		25	5.9%	5.9%
RFID事業	開発・製造（NFC関連）（※）	153	36.2%	94.1%
	システムインテグレーション	245	57.9%	
合計		423	100.0%	100.0%

（※）ハードウェア設計、ソフトウェア開発から販売･量産サポートなどNFCに関する一連の業務を指します。

･決済代行事業は横ばい。（前年同期の決済代行事業売上高　24百万円）

通期業績予想の修正について

©1990-2008 ecash corporation.

通期業績予想の修正

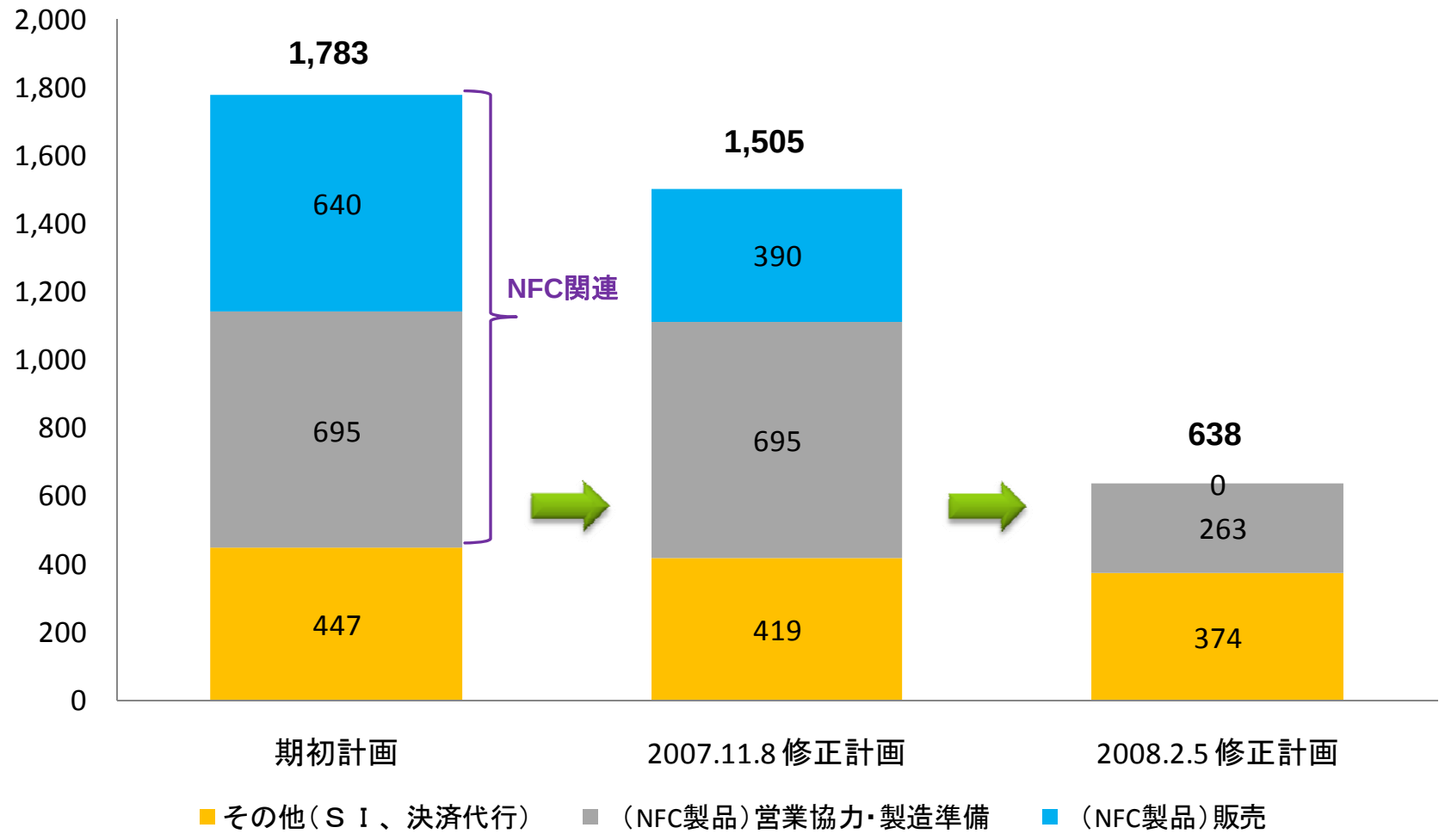
（単位：百万円）

連結業績	2008年3月期 前回発表計画	2008年3月期 修正計画	増減 金額	増減 増減率	2007年3月期 実績
開発・製造（NFC関連製品）	1,085	263	△ 821	-75.7%	764
システムインテグレーション	385	341	△ 44	-11.3%	
RFID事業（合計）	1,470	604	△ 865	-58.9%	764
決済代行事業	34	33	0	-2.7%	33
売上高（合計）	1,505	638	△ 866	-57.6%	797
営業利益	240	△ 273	△ 513	-	231
（利益率）	16.0%	-			29.0%
経常利益	241	△ 272	△ 513	-	198
（利益率）	16.0%	-			24.8%
当期純利益	127	△ 319	△ 446	-	91
（利益率）	8.5%	-			11.5%

前回発表…2007年11月8日

今期業績予想修正の経緯

（売上高：百万円）



©1990-2008 ecash corporation.

事業面における業績予想修正の理由
開発・製造（NFC関連）の状況変化（１）

＜前回（2007/11/9）公表時の状況（中間決算説明会資料より抜粋）＞

	案件 （NFC搭載製品）	進捗状況	製品販売時期	当社の売上計上
国内 コンシューマー向け	ICカードリーダー	カスタマイズ作業及び アプリケーションソフト開発中 （複数社）	①2008年春 ②2008年春以降	①今期 ②来期
	ノート型パソコン	組込み検証作業中 （複数社）	2008年夏	今期～来期

＜現在の状況＞

（ハードウェア）
販売準備完了。

（ソフトウェア）
顧客企業より追加要件として、日本国内に普及している既存の非接触ICインフラとの互換機能を求められた。

→

・ソフトウェアの追加開発発生。

・関係企業との技術＆ライセンスについて交渉。

→

各企業の経営判断が関係するため、スケジュールの確定が困難。
↓
対象製品について今期計画から除外。

©1990-2008 ecash corporation.

事業面における業績予想修正の理由
開発・製造（NFC関連）の状況変化（２）

＜前回（2007/11/9）公表時の状況（中間決算説明会資料より抜粋）＞

	案件 （NFC搭載製品）	進捗状況	製品販売時期	当社の売上計上
業務用機器	工業製品	組込み検証作業中 （複数社）	2008年1月	今期

＜現在の状況＞

前頁の国内コンシューマー向け製品の追加要件に社内リソースを集中して対応。

→ 人員の配置に偏りが生じ、業務用機器の案件を推進できずスケジュールが後ろずれとなり、今期の計画から除外。

（ご参考：2007年12月末現在の連結人数）
取締役： 4名
従業員：25名

©1990-2008 ecash corporation.

業績予想修正の理由（まとめ）

（RFID事業のNFC関連製品の製造・販売）

1. 国内コンシューマー向け製品について、ソフトウェアに追加要件が発生し、追加開発及び関係企業と技術・ライセンスに関する交渉を進めているが、現時点で販売時期の確定が難しく、今期売上計画から除外した。

2. 1の対応に社内リソースを集中させたことで、人員の配分に偏りが生じ、業務用機器向け案件を推進することができず、今期売上計画から除外した。

3. 1，2の状況により営業協力に関する売上等が後ろずれした。

（その他）

4. 業績見通し及び財務の健全性の観点から繰延税金資産を取崩し、保守的な見地より全額を法人税等調整額に計上した。

©1990-2008 ecash corporation.

その他の進捗状況

©1990-2008 ecash corporation.

開発・製造(NFC関連)の状況変化
携帯電話向けモジュール

＜前回(2007/11/9)公表時の状況(中間決算説明会資料より抜粋)＞

案件 (NFC搭載製品)	進捗状況	製品販売時期	当社の売上計上
携帯電話機	組込み検証作業中 (複数社)	2008年内	来期

＜現在の状況＞

大手半導体ベンダがNFC機能を搭載したチップを開発・製造・販売することとなり、このチップを搭載した携帯電話端末が世界的に普及・拡大することが予想される。

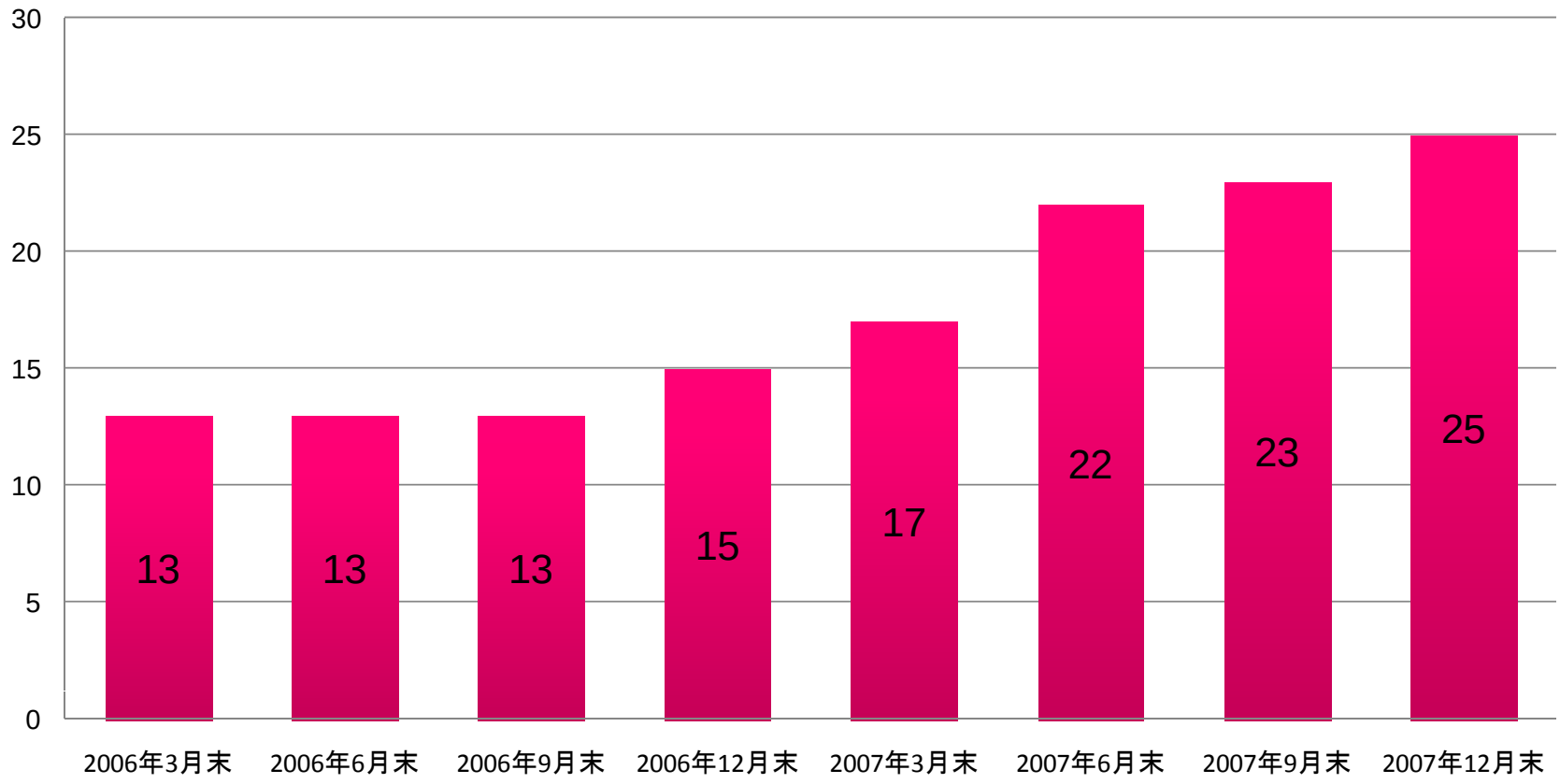
業界動向を踏まえ、携帯電話向け案件については、事業の軸足をNFC機能を活用したアプリケーション開発へシフト。

スマートフォン向けのモジュール開発は継続。

携帯電話向けモジュールと競合

©1990-2008 ecash corporation.

連結従業員数の推移



・今後は、人員計画を含め組織体制の見直しを予定。

©1990-2008 ecash corporation.

NFC製品に関する今後の見通し（１）

業績予想修正となった案件について

・継続対応中。
・課題解決時期については2月5日の業績予想修正発表時から具体的な進展はない。

その他の状況

（総論）
・国内外、分野を問わず、案件数は日々増加している。

（各論）
<u>コンシューマー向け</u>
・市場規模は大きいが、既存の非接触ICインフラとの技術面・運用面での互換性
　を要求される場合がある。特に日本国内の場合、その可能性が高い。
・価格下落圧力が強い分野。

©1990-2008 ecash corporation.

NFC製品に関する今後の見通し（２）

その他の状況

（各論）

工業製品向け

・大規模ではないが、安定的な受注が見込める。
・利益率が比較的良い分野。

携帯電話向け

・携帯電話向けNFCチップ企業が設立されるなど、新規参入が考えられる。
・NFCモジュールビジネスとしては、スマートフォンなどに限定される。
・ソフトウエア市場の早期の立ち上がりが見込める。

まとめ

NFCへの注目は日々高まってきている。
注力する分野を見誤ることなく、的確な分野に的確にリソースを投入することで、
大きな成長が達成できると考えている。

©1990-2008 ecash corporation.

付属資料

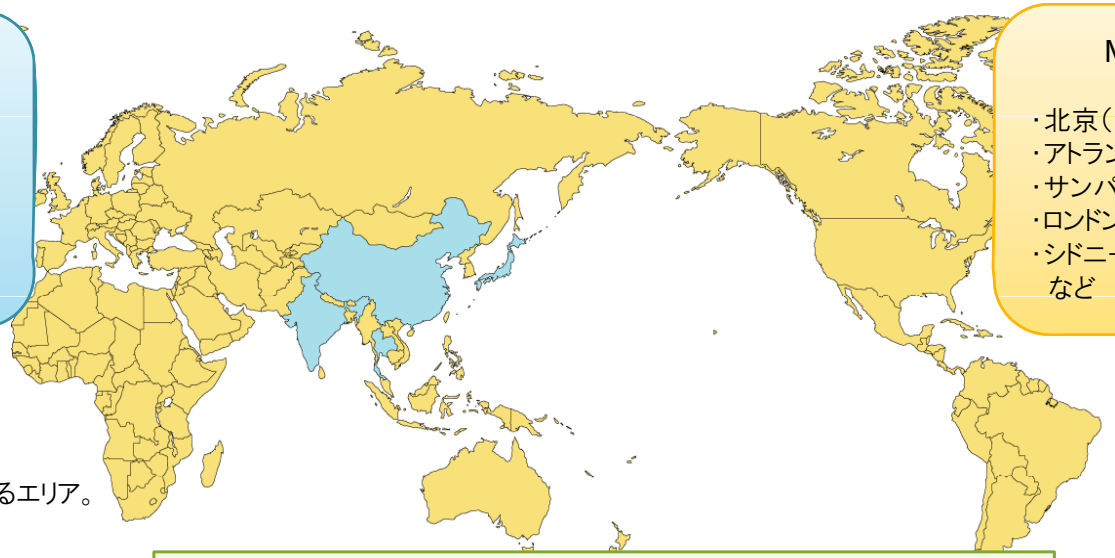
©1990-2008 ecash corporation.

NFC (Near Field Communication) とは

主な非接触ICカードの規格である FeliCa（フェリカ）および MIFARE（マイフェア）の通信規格を包含し、かつ独自のデータ通信方式を持つIC通信規格。
既存のICカードとの通信はもとより、様々なデータの交換を可能にすることで、各種電子デバイスへの搭載がワールドワイドな規模で期待されている。
ソニー株式会社とNXPセミコンダクターズ社が開発した規格で、2003年12月に国際標準となる。

FeliCaサービス（日本）

・自動改札
・電子マネー
・クレジットカード
・ポイントカード
など



MIFAREサービス

・北京（自動改札）
・アトランタ・（自動改札）
・サンパウロ（電子チケット）
・ロンドン（自動改札）
・シドニー（入場チケット）
など

FeliCa が普及している。
あるいは普及が見込まれるエリア。

Mifare が普及している。
あるいは普及が見込まれるエリア。

（各ICチップの出荷枚数）
FeliCa: 2億5000万枚(*1)　MIFARE:12億枚　(*2)

(*1)2007年11月時点の出荷枚数
(*2)2006年11月時点の出荷枚数
*1*2ともにソニー社プレス資料より引用
※分布図は当社作成

※FeliCa（フェリカ）はソニー株式会社の登録商標です。
※MIFARE（マイフェア）はNXPセミコンダクターズの登録商標です。

©1990-2008 ecash corporation.

NFC規格対応製品の応用例

電子機器などにNFC規格対応モジュールを搭載すると、
“かざす”だけで、情報交換や機器設定などが可能に。

例えば…

◆携帯電話のカメラで撮影した画像を“かざして”PCへデータ転送。

◆ホットスポットなどの公衆無線LANにおいて、PCを“かざして”接続設定。

◆ポスターに携帯電話を“かざして”プロモーション動画・画像を取得したり、最寄り店舗への地図情報を取得。

◆店舗や街頭に設置された情報端末に携帯電話を“かざして”施設案内や周辺地図、キャンペーンやクーポン情報を取得。

©1990-2008 ecash corporation.

イー・キャッシュのNFCへの取り組み

組み込み型

外付け型

ハードウェア設計

PCや電子機器にNFC機能を搭載する製品
組込型NFCリーダ・ライタ／外付け型NFCリーダ・ライタ

ソフトウェア開発

リーダ・ライタアプリ／ハンドオーバーアプリ
ドライバ・スタック

中核サービス

導入コンサルティング
応用サービス開発コンサルティング

決済サービス
コンテンツ配信サービスなど

周辺サービス

©1990-2008 ecash corporation.

会社概要

商　号	イー・キャッシュ株式会社　（ ecash corporation ）
設　立	1990年（平成2年）　5月 2000年（平成12年）12月「イー・キャッシュ株式会社」に商号変更
上　場	2007年（平成19年）3月　東京証券取引所マザーズに上場（証券コード：3840）
所在地	東京都港区海岸3-26-1　バーク芝浦10F
代表者	代表取締役社長　玉木栄三郎
事業内容	RFID（非接触IC）技術を応用した事業の企画・実行 RFID（非接触IC）技術を応用した製品・サービスの開発 個人および法人向け決済サービスの提供 コンサルティング、システムインテグレーションサービス
グループ会社	連結子会社1社　Global Business Design(UK) Ltd. （英国バークシャー州）
連結従業員数	25名（2007年12月末）
資本金	456百万円（2007年12月末）
発行済株式数	29,640株（2007年12月末）

©1990-2008 ecash corporation.

社長プロフィール

代表取締役社長　玉木栄三郎

1972年香川県生まれ

東京医科歯科大学医学部大学院博士課程修了　バイオインフォマティクス専攻
医療機器開発および医療情報処理の研究において電磁波、暗号化、情報処理など、
現在の事業の基盤となる技術を習得。

大学院在学中であった27歳のとき、株式会社ジャパンの情報開発部部長に就任。
小売業の現場にてCRM、SCMおよび上場企業のガバナンスを習得。

2001年6月イー・キャッシュ(株)取締役システム開発本部長に就任。

2005年4月イー・キャッシュ(株)の代表取締役社長に就任。

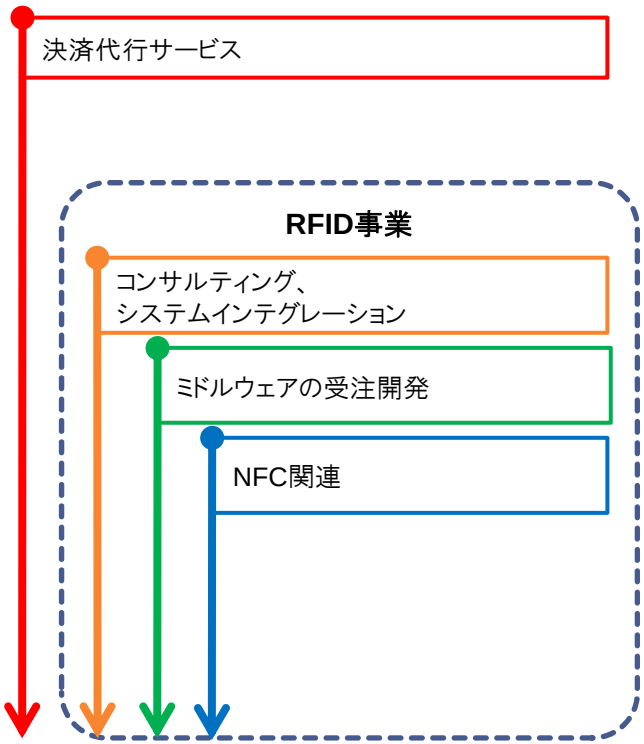
2006年2月Microsoft Regional Director(*)に就任(兼務)。

Microsoft Regional Director PROGRAM

©1990-2008 ecash corporation.

事業沿革

2000年12月	事業目的を電子認証・認識技術を軸としたサービスの提供に改め、 商号を「イー・キャッシュ株式会社」に変更
2001年11月	電子商取引における決済代行サービス「イー・キャッシュ オールマイティ」 を開始
2002年10月	トッパン・フォームズ㈱とモバイルコマース事業で業務提携
2003年3月	モバイルコマースシステム「ゆびコマ」提供開始。トッパン・フォームズ ㈱にOEM提供
2003年7月	電子認証・認識技術を軸とした次なるサービスとしてRFID事業を開始し、 トッパン・フォームズ㈱にコンサルティングサービスを提供
2004年11月	マイクロソフト㈱より同社のSQL Serverを中心としたマーケティングに 関わる業務を受託
2005年7月	電通グループ（㈱サイバー・コミュニケーションズ、㈱電通ドットコム） 及びトッパン・フォームズ㈱と資本・業務提携
2005年7月	EPCglobal ソリューションパートナーに加盟
2006年2月	英国バークシャー州に100%出資子会社Global Business Design(UK) Ltd.設立
2007年3月	東京証券取引所マザーズに株式を上場



©1990-2008 ecash corporation.

【IR窓口】
イー･キャッシュ株式会社
広報･IR 部
TEL ： 03-5484-6750
Mail ： ir@ecash.co.jp

©1990-2008 ecash corporation.